

平成26年度 卒業論文発表会タイムテーブル

日時：2月17日(火)

・発表開始前に余裕を持って入室し待機していること。 ・卒論のコピー、卒論の資料などを持参すること。
 ・質疑の進捗によって多少時間が前後する場合がある。 ・不都合が生じた場合は、指導教員に連絡すること。

	5301	主・副	5306	主・副	5307	主・副
10:00～	PISA型読解力に基づく読解リテラシーの検討	田・浮	キャッチコピーの研究	伊・又	北條民雄論—北條の変化と作品—	木・土
10:20～	PISA型読解力は日本の国語教科書にどのような影響を与えたか	田・浮	岡山方言における変化過程の一考察	又・伊	宮沢賢治論—苦悩からの脱却と成長—	木・蔦
10:40～	国語単元学習はESDの発想に応えることができるのか	田・浮	徳島方言の文末表現に関する意味機能の研究	又・伊	芥川龍之介論	木・蔦
11:00～11:10	10分休憩・移動					
11:10～	小学校教育における方言を取り入れた指導方法について	又・伊	李白「月下独酌」詩の研究	土・蔦	読書活動の意義と読書指導の在り方についての考察	浮・田
11:30～	語彙指導で取り上げたい言葉—大村はま氏の実践を参考に—	田・又	柳宗元「江雪」詩研究	土・蔦	あまんきみこ論—他者理解の観点から—	木・浮
11:50～13:00	昼食休憩					
13:00～	国語教科書における詩教材の分析	田・木	伊勢物語の虚構性に関する研究—古今和歌集詞書との比較から—	蔦・土	敬語の指針と小学校国語教育	伊・浮
13:20～	読みの授業における話し合い能力の分析—物語を教材とした授業実践の分析を中心—	田・木	『更級日記』研究—夕顔・浮舟憧憬について—	蔦・土	国語科教育における内的言語活動についての研究	浮・伊
13:40～13:50	10分休憩・移動					
13:50～	歌合に関する考察—天徳四年内裏歌合を中心に—	蔦・土			大江健三郎論—知的障害者とその家族をめぐる語りについて—	木・又
14:10～	『宇治拾遺物語』の表現性の研究	蔦・土			人を傷つける言葉—不快語蔑称の特徴とその害悪—	伊・又